

## 平成29年度事業報告書

テーマ：地域に開かれた法人として関わりを深め、安心のできる暮らしの支援

サブテーマ：入所者、家族との信頼関係を深め、安全で安心できる生活を支援する

部署名：白楽荘 医務室

<概要> 1. 安全で安心した生活が送れるよう、多職種と連携し異常の早期発見・対応に努めると共に、  
入所者、家族の意思を尊重した看護を行った。また、個々の摂食、嚥下機能に応じた食事の  
見直しを行い、誤嚥を予防すると共に褥瘡予防に努めた。

2. 多職種協働によるチームケアにより、自然なで穏やかな最期を支援した。

<総括> 1. 多職種連携により異常を早期に発見し、早めに家族に病状説明を行った。医師の判断に  
より入院の見極めを行ったが、家族は希望せず、結果入院数は減少した。(10名)  
また、状態変化時には内服や食事内容を検討し、入所者の負担軽減を図ると共に入所者、  
家族の意思を尊重した看護を行うことができた。  
体圧分散ポジショニングクッションが不足していた為、追加購入して、褥瘡予防に努めた。  
一年間の褥瘡発生者は15名でその内11名が治癒、4名は看取りで死亡した。  
機能訓練指導員の作業療法士が育児休暇となり、機能訓練面で対応が手薄となり、拘縮  
進行に繋がってしまった。

2. 入所者、家族の要望の意向を確認しながら、多職種協働によるチームケアにより情報を共  
有し、積極的な医療を控え、穏やかな最期を迎えることができている。(1年間の看取り22名)